

科目区分	専門分野	授業科目	小児看護学概論
講師名		実務経験の有無	有
単位数(時間)	2単位(30 時間)	開講年次	1年次
<p>目的: 子どもの特徴や子どもを取り巻く社会を理解し、成長発達の促進や健康を保持増進するために必要な基礎的知識を習得する。</p> <p>目標: 1 子どもの成長・発達を形態的側面、機能的側面、精神運動的側面、社会的側面から理解できる。  2 保健、医療、福祉、教育の連携と小児看護の機能と役割を理解できる。  3 子どもを取り巻く社会とその動向を理解し、健全に成長・発達するための社会的環境と看護の役割を理解できる。</p>			
授業計画			
単元	時間	内容	
1 小児看護の理念と特徴	5	1 小児看護の理念と特徴 1) 小児看護の対象 2) 小児看護の目標と役割 2 小児看護の変遷 3 子どもと家族の諸統計 1) わが国の人口構造 2) 出生率 3) 子どもの死亡と死因 (1) 周産期死亡 (2) 乳児死亡 (3) 疾病罹患率 4 小児看護の課題 1) 疾病構造の変化と小児看護 2) 社会の変化と小児看護 5 小児看護における倫理 1) 子どもの権利 2) 倫理的配慮と看護	
2 子どもの成長と発達	14	1 子どもの成長・発達 1) 小児看護における発達論 2) 成長・発達の進み方 3) 成長・発達に影響する因子 4) 成長・発達の評価 2 小児各期の成長・発達の特徴 1) 新生児期の形態的・生理的機能的特徴、社会性の発達 2) 乳児期の形態的・生理的機能的特徴、社会性の発達 3) 幼児前期・後期の形態的・生理的機能的特徴、社会性の発達 4) 学童期の形態的・生理的機能的特徴、社会性の発達 5) 思春期・青年期の身体的・心理的・社会的特徴 3 子どもの遊びと学習 1) 遊びの意義 2) 遊びの分類と発達 3) 学習の意味 4 子どもの栄養 1) 子どもにとっての栄養の意義 2) 食育 (1) 食育基本法 (2) 生活習慣病予防、齲歯予防 3) 食事摂取基準	

		<p>4) 小児各期の栄養の特徴</p> <p>(1) 乳児期</p> <p>(2) 幼児期</p> <p>(3) 学童期・思春期</p> <p>5) 子どもの事故と安全対策</p> <p>1) 子どもの事故の現状</p> <p>2) 事故防止対策</p> <p>(1) 子ども自身での対策</p> <p>(2) 家庭環境での対策</p> <p>(3) 社会環境での対策</p>
3 子どもと家族を取り巻く社会	10	<p>1 子どもと家族</p> <p>1) 家族の機能と役割</p> <p>2) 現代家族の特徴</p> <p>3) 家族アセスメント</p> <p>4) さまざまな家族の状況</p> <p>2 児童福祉施策</p> <p>1) 児童福祉の歴史</p> <p>2) 児童福祉施策</p> <p>(1) エンゼルプラン</p> <p>(2) 児童虐待防止</p> <p>(3) 貧困</p> <p>3 母子保健施策</p> <p>1) 母子保健の歴史</p> <p>2) 母子保健施策</p> <p>(1) 訪問指導</p> <p>(2) 健康診査</p> <p>4 医療費の支援</p> <p>1) 未熟児養育医療</p> <p>2) 小児慢性特定疾病対策</p> <p>5 予防接種</p> <p>1) 予防接種法</p> <p>2) 対象疾患と接種方法</p> <p>6 学校保健</p> <p>1) 学校保健の意義と行政</p> <p>2) 学校保健の実際</p> <p>3) 感染予防</p> <p>7 子どもに関わる現代社会の諸問題</p> <p>1) 問題行動</p> <p>(1) 不登校、いじめ、校内暴力</p> <p>(2) 喫煙、飲酒、薬物</p> <p>(3) 自殺</p> <p>(4) メディア利用</p> <p>2) 視力低下と近視</p> <p>3) 性、性教育</p> <p>8 特別支援教育</p> <p>9 臓器移植</p>
	1	試験
評価方法		筆記試験

テキスト	医学書院 小児看護学〔1〕 小児看護学概論・小児臨床看護総論 メディックメディア 看護がみえる vol5 対象の理解 I
参考資料	
履修上の 留意事項	必要に応じて適宜紹介する。
備考	